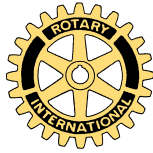


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2025～2026年度 国際ロータリー フランチャスコ・アレツォ 会長テーマ

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 近藤 純子
幹事 加藤 大志朗
会報委員長 杉浦 守康

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3306回例会プログラム

[当年度=26回目；当月=4週目]

2026年（令和8年）3月23日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 退会会員挨拶……宮川 清 会員
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/30) ……
花見家族例会（親睦活動委員会）
10:30～16:30
於：エスパシオナゴヤキャッスル及び
名古屋城散策
(4/6) ……
新会員アワー 岡田晃一郎 会員
" 松本 邦亮 会員

2. クラブフォーラム……………〈公共イメージ向上委員会〉

- 13:00 卓話 「医療分野の現状と
豊田会の取り組みについて」
講師 刈谷豊田総合病院
事務部長 山田 達也 様
(紹介者 内藤 昇 会員)

13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

出席

会員総数 93名 出席免除 21名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 7名 出席率 91.95%
前々回(3/2)の修正出席率 100%

会長報告

- 3月12日(木)刈谷市役所にて、刈谷市観光協会理事会有り、今村副会長に参加して頂きました。
- 3月17日(火)社会教育センターにて、刈谷市国際交流協会役員・幹事会有り、参加して参りました。
- 国際ロータリーより、マルチプル・ポールハリス・フェロー4回目の認証バッジが盛田豊一会員に、2回目が内藤昇会員に、1回目が私、近藤純子と加藤大志朗会員に届いております。



- 3月19日(木)新南愛知カントリークラブ美浜コースにて、3月度ゴルフ例会が開催されました。グロス87、ネット73.8にて石川泰隆会員が優勝されました。同日、刈谷RC・知立RC合同親睦ゴルフが開催され、知立RC 山本裕嗣会長がグロス88、ネット73.6で優勝されました。刈谷クラブでは杉浦祐介会員がネット73.8で惜しくも2位でした。

幹事報告

- 今月のロータリーレートは、1ドル156円になります。
- 本日例会終了後に特別会議室にて、第10回理事会

を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

近藤 純子



皆さま、こんにちは。今年は例年より桜の開花も早く、暖かな日が続いております。

実は、私は春が近づくと、嬉しさ半分、不安半分というのが正直な心境です。スギに始まり、ヒノキ、イネ科と続いて花粉が飛散する季節です。晴れた日に山の方へ目をやると、黄色く染まったモヤで山全体が覆われていることがあります。そんな日は、ゴルフのラウンド中はもちろん、客先でも鼻水や目のかゆみに襲われ、「仕事どころではない」という経験を長くしてまいりました。最近では年に一回の注射で症状が何とか治っておりますが、あくまで対症療法で、根本的に治ったわけではありません。

昨今、「国民病」とも言われる花粉症ですが、近年の環境省や厚労省の調査によれば、日本人の約42.5%、およそ2人に1人に迫る割合が花粉症を患っているとされています。1998年には20%弱だったそうですから、わずか20年ほどで倍増している計算です。これは単なる個人の健康問題ではなく、いまや深刻な社会問題と言えるでしょう。

第一生命経済研究所の推計によれば、花粉症による労働生産性の低下や外出控えなどによる経済損失は、年間数千億円規模にのぼるとも言われています。私たちが「仕事どころではない」と感じるあの1日は、日本全体で見れば巨大な損失を生んでいる経済問題でもあります。

ところで、花粉症があるのは日本だけなのでしょうか。「スギ花粉症」に限って言えば、日本に特に顕著な現象とされています。日本では、戦後の復興期に、成長が早く、建材として優秀なスギが大量に植林されました。その後、輸入材の増加などで手入れされない森林が増え、結果として大量の花粉が飛ぶようになりました。

海外にも花粉症は存在しているようです。欧州では、「シラカバ」や「カモガヤ」などが多く、北米では「ブタクサ」が主流だそうです。

しかし、日本ほど短期間に、かつ全国一斉に特定の樹木による被害が出るケースは珍しく、ある意味、先人たちの「未来への投資」の副作用を、今しっかり受け取っていると言えるのかもしれません。

政府もこの事態を重く受け止め、スギの伐採や、花粉の少ない苗木への植え替え、住宅へのスギ材利用の促進など、長期的な対策を進めております。しかし、スギが苗木から成長して花粉を出し始めるまでに約30年、そして山全体の植え替えが完了するには50年以上かかると言

われています。その効果が現れるには相応の時間を要します。

社会全体での対策が進み、後に続く世代が「昔の人は大変だったんだね」と語れるような健やかな未来が訪れますことを期待し、本日の挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

退会会員あいさつ



宮川 清 会員

卓 話

「医療分野の現状と 豊田会の取り組みについて」

講師 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
事務部長 山田 達也 様



本日は、豊田会の取り組みについて、ご紹介の機会を頂きありがとうございます。

日頃より、当会に対し、ご理解とご協力をたまわり深く感謝申し上げます。

豊田会は昭和37年設立され、社会貢献を理念に、現在、急性期医療を担う刈谷豊田総合病院を中心に、回復期・慢性期を担う刈谷豊田東病院・高浜豊田病院、介護老人保健施設のハビリスーツ木、付帯事業として訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等を整備しこの地域の保健・医療・福祉サービスを提供しています。

「豊田会の現状と課題」

外部環境では、急速な少子高齢化による人口減少、社会保障費（医療費）の増加、診療報酬のマイナス改定が継続、医師の働き方改革（時間外労働の上限規制）への対応などがあり、病院経営は全国的に厳しく、医療利益・経常利益ともに赤字割合が増加、消費税増税による負担増、医師の時間外労働規制への対応でコスト増加となるなど、極めて厳しい経営環境となっています。

2026年度診療報酬改定が行われますが、病院経営は厳しい状況が続きます。そのような中で当会は、社会的責任を果たすべく、安定した経営に努めるとともに、以下

の課題を進めていきます。

1. 高度医療機器の整備：手術支援ロボット、MRI、CT、血管造影検査PET-CTなどの放射線診断装置、放射線治療装置などの導入・更新
2. 救急受入れ体制の充実：新救命救急棟の建設計画（老朽化した3棟の機能を集約し、救命センター、災害拠点病院としての機能強化）、災害時の受入体制・備蓄の強化（自家発電・水・食料等7日分の備蓄を計画）など
3. 魅力ある労働環境：医師の増員・採用強化、タスクシフト・シェアの推進、医師の時間外労働削減、週休2日制や当直制度の改定、年休取得促進など
その他に地域貢献、社会貢献などは、災害時の医療支援、ドクターカーの運用、刈谷特別支援学校への看護師派遣・医療的ケア支援などを行っています。
今後も豊田会の課題を推進し救急医療、災害医療で、この地域の最終砦としての役割を強固なものにしてまいります。

3月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和8年3月19日(木)

於：新南愛知カントリークラブ美浜コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	石川 泰隆	87	13.2	73.8
2位	盛田 豊一	93	23.0	70.0
3位	塚本 幸夫	98	26.6	71.4
B B	近藤 純子	118	33.6	84.4



第10回理事会

- I 会長挨拶 〈会長〉
- II 議題
 1. 4月・5月のプログラム（案）について 〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
 2. 新会員について 〈幹事〉
 3. 職業表彰について（5/11） 〈職業奉仕委員長〉
 4. ロータリー文庫について（5/18） 〈社会奉仕委員長〉
 5. 小堤西池カキツバタ支援金について（5/18） 〈社会奉仕委員長〉
 6. ポリオ例会について 〈ロータリー財団委員長〉
 7. その他
- III 会場監督の所見